

第3回(平成26年)顕彰論文募集のご案内

一般財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

当財団は、平成24年3月に医学に関する学術論文の顕彰を目的として設立されました。設立者ポール・ブルダリ氏(仏人)の日本人の奥様が肺癌により66歳の若さで亡くなられた為、その追悼を兼ねて、おなじような悲劇(長年連れ添った妻が、やっとその夫が退職して自由時間ができた矢先に亡くなる悲劇)が繰り返されないよう、とりわけ肺癌を撲滅させる為、当財団を設立することを決意されたものです。5億円の浄財がまず肺癌治療の臨床と研究に役立ち、且つこのような寄付される事が「亡くなられた奥様の栄誉」として、人々の記憶に残ることを期待し、同時にこのことが日仏友好の一つの礎になる事を願ってのことです。従いまして、当財団の定款では、「この法人は、癌(とりわけ、肺癌)撲滅に寄与する基礎医学及び臨床医学に関する優秀な学術論文を著した日本人医学者を顕彰する事業を行い、よって癌撲滅に寄与することを目的とする。」と定めております。

第2回顕彰も多くの方々にご応募を頂きました。受賞者・顕彰論文及びその授賞式のご紹介は当財団又はフランス大使館のHPをご覧ください。授賞式は、駐日フランス大使公邸にて、クリスチャン・マセ大使含む大使館の方々のご支援のもと、多くの医療・官公庁・メディア関係者の方々にお集まりいただき、受賞者の方々に祝意を表していただきました。

(当財団HPURL: <http://www.kiyoko-foundation.or.jp/>)

(フランス大使館HPURL: <http://www.ambafrance-jp.org/article6568>)

応募要項は下記の通りになりますので、皆様の奮ってのご応募をお待ちしております。

記

<応募要項>

1. 対象論文:すでに学術雑誌に英語で発表された論文とし、発表年は問わないものとします。
2. 応募資格:臨床医乃至研究者で、日本国籍をもち、論文筆頭者であること。
3. 論文の内容:肺癌の臨床医学および基礎医学(外科学、内科学、放射線科学、病理学、転移に関する他臓器分野、緩和医学、予防医学、終末期医学、分子生物学、疫学、生体医用工学等)とします。
4. 応募方法:申請用紙(HPからダウンロードし記入)、主論文、その補助論文(あれば必ず添付下さい)、当財団事務局宛にPDFファイルにてEメールで送付下さい。
5. 応募期間:平成26年7月～9月30日(火)必着
6. 送付先: 一般財団法人後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会事務局
メールアドレス: office-info@kiyoko-foundation.or.jp

<顕彰について>

1. 発表時期:平成27年4月予定
2. 発表方法:その論文がいかなる意味で顕彰に値するかを明記したうえで、顕彰論文をホームページ上で発表致します。
3. 顕彰される論文の数:1篇(主顕彰)を原則とし、追加1乃至2篇(従顕彰論文)まで可能とします。
(該当論文がない年度もあり得ます)。
4. 顕彰式:財団の設立者ブルダリ氏ないしは当財団理事長が顕彰証書及び賞金(年間総額500万円)を論文の筆頭者に手渡します。顕彰証書には、氏名(筆頭者名)、論文名(発表雑誌名)顕彰理由を、日本語と英語で明記することとします。